

メディカルタウンの再生力

主催：30年後の医療の姿を考える会

第4回市民公開シンポジウム

がん患者が自分の力を取り戻せる支援とは？

イギリスのがん患者支援、マギーセンターから学ぶ



日時：2010年 2月21日(日) 13:00 開場

参加方法：入場無料・参加自由

■はじめに：秋山 正子 (30年後の医療の姿を考える会 会長)

■第1部 基調講演 13:30-15:00

「マギーズ・キャンサー・ケアリング・センターの実際」

・マギーセンター最高経営者 Laura Lee

・ビジネス開発ディレクター Sarah Beard

・医療通訳 重松 加代子

■第2部 パネルディスカッション 15:15-16:30

・日本におけるがん患者相談支援 鈴木 健彦 厚生省がん対策室長

・がん患者とその家族の立場から 海辺 陽子 癌と共に生きる会副会長

・看護の視点から 宇都宮宏子 京都大学病院

・コーディネーター：柳田 邦男(作家) 中村 順子(日本赤十字秋田短大)

■おわりに：樋野 興夫 (順天堂大学医学部 教授)

■総司会：吉川 菜穂子 (30年後の医療の姿を考える会 事務局長)

□会場：聖路加看護大学

アリス・S・ジョンメモリアルホール (定員300名)
(東京都中央区明石町10-1)

□交通：東京メトロ日比谷線築地駅3番出口。正面の角を左折し直進。
(徒歩3分) / 東京メトロ有楽町線新富町駅6番出口。1つ目の
道を右折し直進。(徒歩5分)

都営大江戸線築地市場駅下車徒歩10分。

□主催：「30年後の医療の姿」を考える会、NPO法人白十字在宅ボランティアの会

□協賛：清水建設株式会社(予定) アフラック(アメリカファミリー生命保険会社)(予定)
日本医業経営コンサルタント協会東京都支部

□後援：聖路加看護大学(予定) 毎日新聞(予定) 朝日新聞(予定) 東京都(予定)
順天堂大学医療看護学部(予定)



□お問い合わせ：白十字在宅ボランティアの会 (FAX: 03-3268-1629)